



ドクター

まちの医療人

vol.01 医師たちの現場の舞台裏

今、西条市の医療現場では医師不足や高齢化への対応が課題です。そこへ地域医療の全体像を俯瞰する立場にある医師会はどうのように立ち向かっているのでしょうか。医師会長の年森医師に現場のリアルな声と、医療を守るために必要なことについてお話を伺いました。

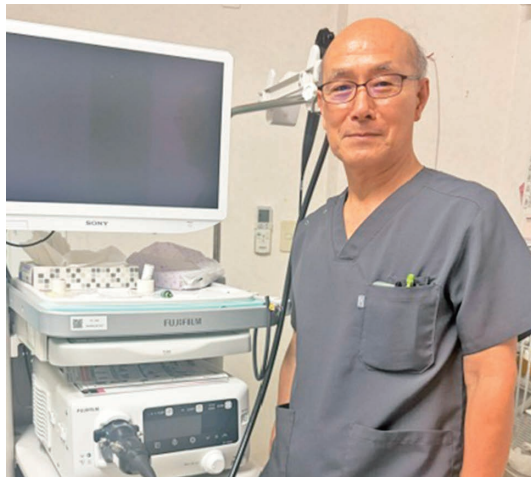
救急医療を守るためのご協力をお願いします▶
問合せ 医療対策課 Tel.0897-52-1395



今月の医療人

としもり内科 院長 年森 つかさ さん

一般社団法人西条市医師会長、としもり内科院長。地域医療の現場で診察しつつ、市の健康や福祉を守るための活動に奮闘中



市民の健康を守り、未来へつなぐ医療

Q1. 医師として、また医師会長として、大切にしている考え方を教えてください。

原点にあるのは「分け隔てなく接すること」

どのような方に対しても、同じ一人の人間として「分け隔てなく接すること」を大切にしています。その上で、どんな時も誠実に向き合うことが、医師としての礎だと考えています。



Q2. 今の救急医療の現状をどう捉えていますか。

医療崩壊を防ぐための「適切な受診」への転換

現場は医師不足や高齢化で非常に厳しい状況です。救急医療は、比較的症状の軽い人の「一次」、入院や手術を必要とする人の「二次」、救命を必要とする人の「三次」と役割が分かれています。症状に応じた「救急医療の上手な使い分け」をお願いしたいです。

Q3. 医師会として、市民との関わりで力を入れている取り組みを教えてください。

「治療から予防へ」先回りしたアプローチ

これからの時代は「未然に防ぐこと」が大切です。医療技術の進歩により、今は「病気になる前」に対処できることが増えています。私たちも自治体と連携し、健診の呼び掛けや重症化予防の啓発に力を入れています。

Q4. 未来の医療を担う若者たちへメッセージをお願いします。

地域が抱える課題をチャンスに変えてほしい

私たち全員が、これからの高齢化や人口減少と真っ向と早く訪れる「医療機関の減少」という課題に向き合う必要があります。いつの時代も、新しい未来を切り拓くのは若者です。医療関係の仕事を目指す皆さん、ぜひ、悔いのない決断をして、勇気を出してこの西条へ飛び込んできてください。

株式会社
弓山建設

新築 リフォーム ガレージ 店舗

西条市中野甲1288-1 愛媛県知事登録(ハ)第3136号

MUSBELL

うちの子も結婚できました!

お気軽にご連絡ください

独身のお子様の結婚相談

マル適マークCMS取得 ムスベル株式会社
結婚相談所 ムスベル松山

0120-138-026

松山市千舟町4-5-2 平成ビル5階 通話料無料 営業時間:10時~19時 定休日:第2・第4水曜日

有料広告